

# 寅さん歩 その 19

## バーチャルウォークで 甲州道中を歩くー2



平野 武宏

寅次郎、徳川家康が整備した五街道の東海道、中山道、日光道中、奥州道中をバーチャルウォークで完歩しました。

次は五街道で残った甲州道中に挑戦しています。バーチャルウォークのシートはHPのYR・四季の道から印刷してください。

バーチャルウォーク甲州道中は 2020 年 11 月～12 月に歩いて、寅さん歩 348～351 東京の博物館めぐり内で経過のみを報告していますが、今回は各宿場を紹介しながらゆっくり歩きます。

五街道ウォーク・八木牧夫著「ちゃんと歩ける 甲州街道」(山と溪谷社)と山口徹著「歴史の道 甲州街道を歩く」(吉川弘文館)を参考に、写真は無料画像を使用します。徳川家康は主要五街道(東海道、中仙道、甲州海道、奥州海道、日光海道)を幕府道中奉行の管轄下に置き、順次整備に取り掛かりました。

1716 年(正徳 6 年)五街道の名称を東海道、中山道、奥州道中、日光道中、甲州道中に統一しました。海道は海端の道でないとの理由で道中と呼びました。街道との呼び方は明治政府の命名によります。

今回は日本橋から上石原宿まで歩きました。今回は府中宿から小仏宿まで歩きます。

[府中宿] 東京都府中市 最寄駅 京王線 府中駅

J R 南武線 府中本町駅

2025 年 6 月 12 日府中(ふちゅう)宿(日本橋から 30km)に到着しました。府中宿は国府が置かれ、武蔵国の総社で武蔵国の総鎮守の「大國魂神社(おおくにたまじんじゃ)(写真下左)」がある武蔵國中心部にあり、現在の市の施設は宿場の中心近くにあります。大國魂神社の創建は 111 年(景行天皇 41 年)と伝わります。参道は源頼家や徳川家康が寄進したケヤキ並木(写真下右)です。また府中宿は生糸を扱う商家が軒を連ね、鎌倉街道を控え大いに栄えました。



〔日野宿〕 東京都日野市 最寄駅 JR中央本線 日野駅

「日野の渡し」で多摩川を渡し、2025年6月16日日野（ひの）宿（日本橋から38km）に到着しました。写真下左は日野渡しの碑です、日野宿では下佐藤家と上佐藤家が交代で名主を勤め、本陣（写真下右）となっています。当主の佐藤彦五郎は天然里心流佐藤道場を開き近藤勇が教授に来て、土方歳三、沖田総司、井上源三郎などが稽古に励みました。新選組のふるさとです。



〔八王子宿〕 東京都八王子市 最寄駅 JR中央本線/横浜線 八王子駅

2025年6月18日八王子（はちおうじ）宿（日本橋から46km）に到着しました。北条氏照の居城だった八王子城が落城後、後に城主となった徳川家康が大久保長安に新らたな町づくりを命じた。宿並みは東から横山宿、八日市宿、八幡宿で構成され、総称して「八王子宿」となり、甲州道中最大の宿場で大いに栄えました。写真下左は現在の街並みです。



徳川家康は武田家の旧家臣を召し抱え、「八王子千人同心」として甲州口の押え・西江戸の守りとしました。頭や幹部の屋敷は街道筋にあり、平同心は八王子周辺で半士半農の生活を送りました。写真上右は街道筋の屋敷跡の碑です。

〔駒木野宿〕 東京都八王子市

最寄駅 高尾駅からバス利用

2025 年 6 月 23 日駒木野（こまきの）宿（日本橋から 54km）に到着しました。駒木野宿は隣の小仏宿と合宿で問屋の継立業務は月のうち 16 日から晦日までを勤めた。写真右は現在の町並みです。



〔小仏宿〕 東京都八王子市

最寄駅 高尾駅からバス利用

2025 年 6 月 23 日小仏（こぼとけ）宿（日本橋から 56km）に到着しました。



駒木野宿と合宿で問屋業務は1日から15日は八王子宿と小原宿へ継立、16日から晦日は駒木野宿へのみ継立てました。写真上左は現在の町並みです。  
また小仏峠（写真上右）を控え宿場は賑わい、名物は小仏川のヤマメです。

今回はここまでとします。

平野 寅次郎 拝